

社会福祉法人いずみ ひまわり (児童発達支援)

## 令和6年度 ひまわり (児童発達支援) 自己評価に対する検討結果

アンケート実施期間：令和6年11月

	アンケート結果	改善目標、工夫している点
環境・体制整備	<p>2「職員配置の配置数が適切であるか」 職員3名より「いいえ」の回答があった。 しかし、保護者より「色々と相談する事ができ、安心できる」と意見があった。</p> <p>3.4「生活空間について」 保護者より、「ドアが開いていることがあり、目を離した時に外に出て階段からの転落が心配」と意見があった。 「ゴミひとつ落ちてなくとてもきれい」 「大きな窓がとても良い。光がたくさん入っていい空間だと感じる」との意見があった。</p>	<p>職員数に対しては配置基準を満たしているが、加配分の職員の抜けた分が埋まっていない。 利用児の安全が確保でき影響が出ないように、活動の内容を考慮し人員配置を工夫している。</p> <p>ドアは換気のため基本開けている。 必要時には内鍵も活用し、安全に活動出来るようにしている。 階段の安全策については、以前より安全柵を取り付ける事等検討をしているが、現状建物の構造上難しい。 廊下に出る際は必ず職員が付き添っている。</p>
業務改善	<p>8「外部評価について」 職員より「いいえ」の回答が多数だった。</p>	<p>前回の評価と同様。 事業者向並びに保護者向け自己評価表を実施している。結果は回覧や配布により周知、またホームページで報告している。今後も継続して実施していく予定。 第三者による外部評価は未実施。まずは、自己評価の結果を踏まえて支援の向上につなげていく。 外部評価の実施については、今後検討していく。</p>

<p>適切な支援の提供</p>	<p>保護者より</p> <p>5「児童発達支援計画が作成されているか」では、「子供の事をよく見て知ってくれている的確な計画作成がされている」と意見があった。</p> <p>7「児童発達支援計画に沿った支援が行われているか」では、「リクエストにも快く応じてくれている」と意見があった。</p> <p>13「子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか」では、「細かいやり取りが出来ている」「的確な提案や課題を話してくれる」と意見があった。</p> <p>16「子どもや保護者からの相談や申し入れ」では、「困った事等、相談すると丁寧に対応してくれて、いつも助けられている」「いつも迅速で、より良い対応をしてくれて感謝している」と意見があった。</p> <p>17「意思の疎通や情報伝達の為の配慮がなされているか」では、「LINE や電話で情報を伝達し合えている」「送迎時や親子通園の際、職員からたくさん声をかけてもらえる」と意見があった。</p>	<p>日々、保護者とのコミュニケーションを大切にして情報共有を行っている。</p> <p>今後も、連絡帳、LINE、電話、送迎時、親子参加等で保護者が相談しやすい環境を工夫して作っていく。</p> <p>職員間での情報共有も行い、個々の特徴に合わせた支援や集団での活動を行っている。</p>
-----------------	--	---

	<p>15「保護者同士の連携が支援されているか」では、「今年はOB会などの開催がありとても良かった」「保護者同士が話せる機会などいつも設けてくれてありがたい」「行事や保護者会は参加人数が毎回集まれていると思う」と意見があった。</p> <p>9「保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子供と活動する機会がある」では、どちらともいえない2名、わからない4名だった。</p> <p>「コロナなど色々あるので、なくても気にしない」「これからあるのか」「利用日数が少ない為、機会があっても参加できていないだけかも」と意見があった。</p> <p>18「会報やホームページで発信されているか」では、「ホームページを見る事はあまりないが、余裕があればホームページ更新のお知らせがあると見ると思う」「会報はカラー印刷で内容が充実していて楽しみ」と意見があった。</p>	<p>親子参加行事や保護者会などを定期的実施することで、保護者間での交流の場にもなっている。</p> <p>今年度は同窓会を実施し、在園生と卒園生の交流や保護者の交流の場となり好評だった。</p> <p>6月に実習所との交流会、9月につばさ祭りがあり交流を行った。</p> <p>来年度も他施設との交流の計画があるため、感染の動向を見極めながら感染の拡大がないように行う。</p> <p>現在、ホームページ上にて、日々の活動等を紹介する記事を毎月更新している。</p> <p>今後も更新していく予定。</p> <p>ホームページ更新や会報の発行等のお知らせについては、連絡帳や保護者会等でお知らせしていく。</p>
--	--	---

<p>保護者との連携</p>	<p>職員より 24「主治医や協力医療関係等と連絡体制を整えているか」については、「連絡体制を持っている利用者さんもいるが、他の利用者さんは直接連絡を取る体制にはなっておらず、保護者を通じた連絡、情報収取となっている」と意見があった。</p>	<p>主治医等との直接の連絡体制は無いが、保護者を通じて情報収取している。 当事業所では月に一回嘱託医（内科、整形）の訪問があり、職員、保護者は相談できる体制になっている。</p>
<p>非常時等の対応</p>	<p>職員より 44「食物アレルギーの対応」については、「指示書が必要なアレルギー対応はなし」「給食は安全に提供する事が難しいためアレルギー対応不可」と意見があった。</p>	<p>前回と同様。 ・食物アレルギーがある・疑いの子どもについては、持参のお弁当を摂取している。そのため指示書が必要にはなっておらず、指示書による対応は行っていない。 ・食材のアレルギー除去はできるが製造、加工ラインでの完全な分別は困難である。 ・加工や食事介助で他の子どもの食べ物が混入する・誤提供などの可能性もあるため、引き続きひとり一つのトレーを使用して、事故がないように支援を行う。</p>
<p>満足度</p>	<p>保護者より ・「子どもは通所を楽しみにしているか」では、「送迎車を見るとニコニコしている」「楽しんでいる」「色々な人に声をかけてもらってうれしい」と意見があった。  ・「事業所の支援に満足しているか」では、「満足している」「良い支援をしてもらい助かっている」「職員一人一人が子ども達と向き合っているのが良くわかる」と意見があった。</p>	<p>保護者の満足度は高いため、支援の質を維持しながら、利用児の成長や保護者の意向の変化に合わせて、支援の内容を更新していく。</p>

以上